

ラッシュ・ジャパンのチャリティポット5周年記念交流会参加

香りの良い石鹸を販売するラッシュ・ジャパン。お店にはチャリティのための石鹸（チャリティポット）も置かれており、その売り上げが社会貢献事業に使われています。当会も2008年にCMIPエリアでの保健医療セミナーに対して支援をいただきました。この5周年の交流会が10月16日に開催され、HANDSを代表して参加してきました。

4年前の事業では保健衛生セミナー開催資金とともに、私たちはハンカチキャンペーンを展開し、洋服タンスの引き出しに眠っているハンカチを集め、現地に届けました。ハンカチは手洗い励行や、セミナーで学んだ衛生知識を思い出していただくために使われました。

今回の交流会では、一般市民の参加はほとんどなくて、各店長さんに、チャリティポットの収益が、どのように使われているか、あらためて認識してもらおうと同時に、1個の商品代金のうち20円が東北の被災地支援に寄付される新商品のお披露目会がありました。当会もCMIPやPIHSとの医療保健分野の事業で、またチャリティポット助成をいただけたらと考えています。

(九島)



はじめまして

藤川千容

はるか昔・・・学生時代に、エジプトのピラミッドやさまざまな国で観光客たちに土産を売る子供たちに近い、学校に行かず働く子供たちがいる驚きと教育を平等に受けられない人たちがいることを痛感。以来折々に関心を持ち、自分なりの協力をしてきました。

その中でユニセフ・NGOのボランティア・国際交流などを行っている仲間たちと国際交流のグループ活動をしていました。メンバーは、各々が地域で違ったボランティア活動をしています。年に1回は海外で支援活動しているNGOやユニセフ等との交流をして情報の交換や経験を深め、自分の行っている活動を客観的に見る良い機会とし、自分たちの今後の活動に活かすことを目的としています。

いままで訪問した国と主な交流活動先は、カンボジア（農業支援と女性の自立支援）、ミャンマー（孤児院）、ラオス（女性の職業訓練と子供活動センター）、南アフリカ（女性の自立支援・エイズサポート・障害を持った孤児施設）、フィリピン（ユニセフ活動・島の学校教育）、イギリス（ワークシェアの勉強と移民女性の自立支援）、インド（ユニセフ活動）、バングラディッシュ（少数民族の自立活動支援）などです。

特にラオスは私が日本でボランティアに属している団体がラオスへのサポートをしていたので思い出深い訪問で、現地で活動している方たちのサポートの熱心さに触れ、日本での支援の意義を確認した機会でもありました。

HANDSの活動が私の目指すものと一致しており、微力ながらお役に立てるといいなあと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ー水野さん、お疲れさまでした！ 藤川さん、よろしくお願いいたします！ー

非専従スタッフとして約2年間、事務やイベントのお手伝いをいただいた水野さんは、ご家庭の事情で3月末に退職され、今はお時間がある時にボランティアで参加いただいています。

この10月からは、上記で自己紹介をお願いした藤川さんに、本部事務局でのパソコン作業などご担当いただくことになりました。すでに会計入力作業などをお願いしています(写真)。藤川さん、よろしくお願いいたします。
(事務局・山崎)